

阪南市におけるデジタル田園都市国家構想推進交付金の活用について

1. 地域DX推進事業（政策共創室）

総事業費：2,620千円



【事業概要】

阪南市では、急速にデジタル化が進む中、誰一人取り残されることなくすべての人がデジタル化のメリットを享受でき、地域の課題解決や市民生活の質的向上を図るため、新しい生活様式への対応、働き方改革、教育、健康、介護、医療、地域交通体系などのあらゆる分野でICT等の新技術を活用したまちづくりとして、スマートシティを推進しています。

地域のDXを含めたデジタル化を推進するため、以下の事業に取り組みます。

①自治会連合会等の地域団体が、新しい生活様式を取り入れながら感染防止と地域活動の両立を図ることができるよう、本市と自治会連合会等の地域団体及び事業者との協定を締結し、5地区程度のモデル地区において、スマートフォンやタブレットを活用した「地域デジタル支援アプリ」である電子回覧板（連絡網機能、グループウェア機能、地域情報配信機能等）を導入します。

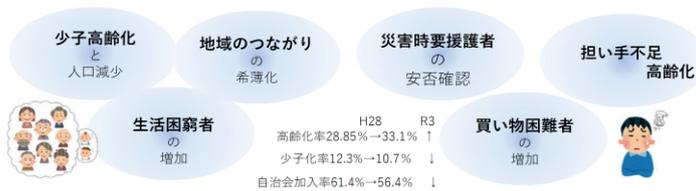
②地域デジタル支援アプリでは対応できないオンライン会議などについて、コロナ禍においても市民活動が活発にできるよう、市民活動・地域交流の拠点や市民活動のコーディネーター役を担う地域交流館（市民活動センター含む）にオンラインやリモートで活動（例えば、市民活動の会議やイベント、井戸端会議、市民活動のコーディネート等）ができる環境を整備します。

【事業イメージ】

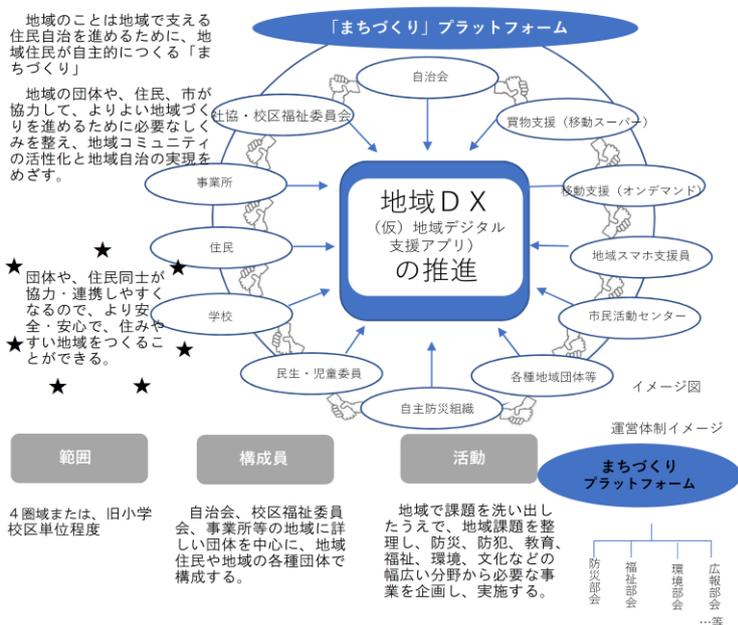
地域DXの推進でつながる「まちづくり」

～「人がつながり、地域がつながる共創のまち」の実現に向けて～

阪南市の現状と課題…

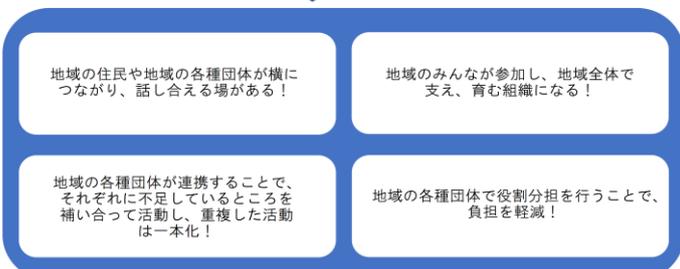


地域DXの推進でつながる「まちづくり」



めざす姿！

地域課題への対応の限界…



2. 公共施設の使用申請等オンライン化事業 **総事業費：21,384千円**

(政策共創室、シティプロモーション推進課、生涯学習推進室、中央公民館)



【事業概要】

市民生活のデジタル化推進と施設申込時の窓口滞在時間の減少を含めた利用者の利便性向上を図るため、公民館（尾崎・東鳥取・西鳥取）、スポーツ施設（総合体育館、中央運動広場、市立テニスコート、桑畑総合グラウンド(テニスコート含む)、光陽台グラウンド）、文化センター、地域交流施設、市民活動センター、テレワークステーションの使用申請等について、キャッシュレス決済を含むオンライン申請ができる「公共施設の予約システム（クラウド型）」を新たに導入します。

3. 文化財デジタルアーカイブ推進事業 (生涯学習推進室) **総事業費：11,836千円**



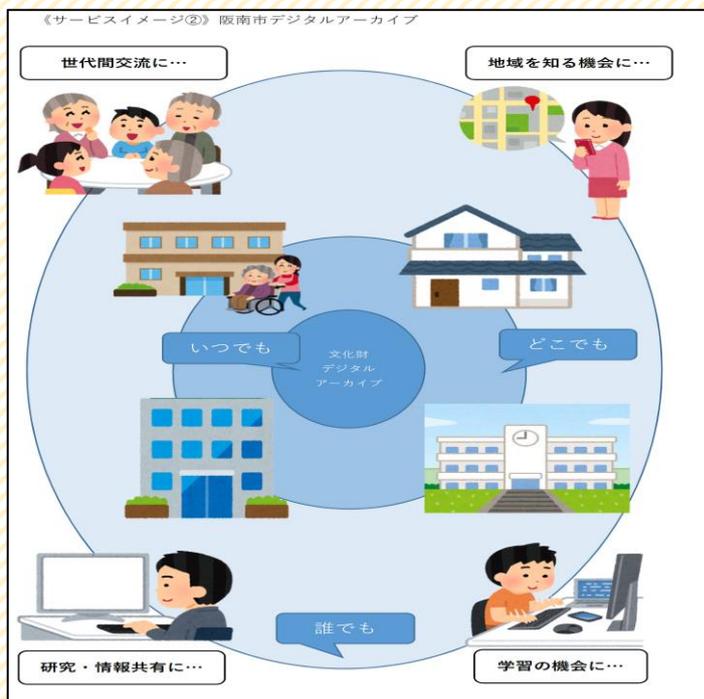
【事業概要】

市民が地域に誇りを持って暮らすため、地域の個性を形成する歴史や文化の大切さを理解し、それらを保護・保存・継承する取組が求められています。しかしながら、近年においては人口減少や少子高齢化等の進展、生活様式及び価値観の変化等により、地域の歴史遺産が継承されず、伝統文化が衰退していく危機にあります。

本事業では、文化財を活用した豊富な学習機会の提供や活発な啓発活動を行うことを目的として、市条例に基づく指定文化財の史料や古写真をデジタル化し、誰もが自由に閲覧できる仕組みとして、文化財デジタルアーカイブを構築します。

本アーカイブは、単なる史料の記録化にとどまらず、学校教材、生涯学習講座、回想法の素材、地域の魅力発信など様々な活動のツールとしての活用が可能で、各種史料を実際に見たり、触れたりすることができる市内歴史資料展示施設との役割を分担させることで、文化財の普及啓発活動を強化できる効果が期待できます。

【事業イメージ】



4. 阪南市の遊休施設を活用した企業誘致・移住促進・テレワーク受入環境整備事業

(シティブロモーション推進課)

総事業費：24,980千円



【事業概要】

移住・定住の促進として、首都圏や大阪都市圏等を離れて働く方に、テレワークスペースなど、サードプレイスづくりに向けた支援を行うため、遊休施設（空き家等）を活用したサテライトオフィス等を整備します。

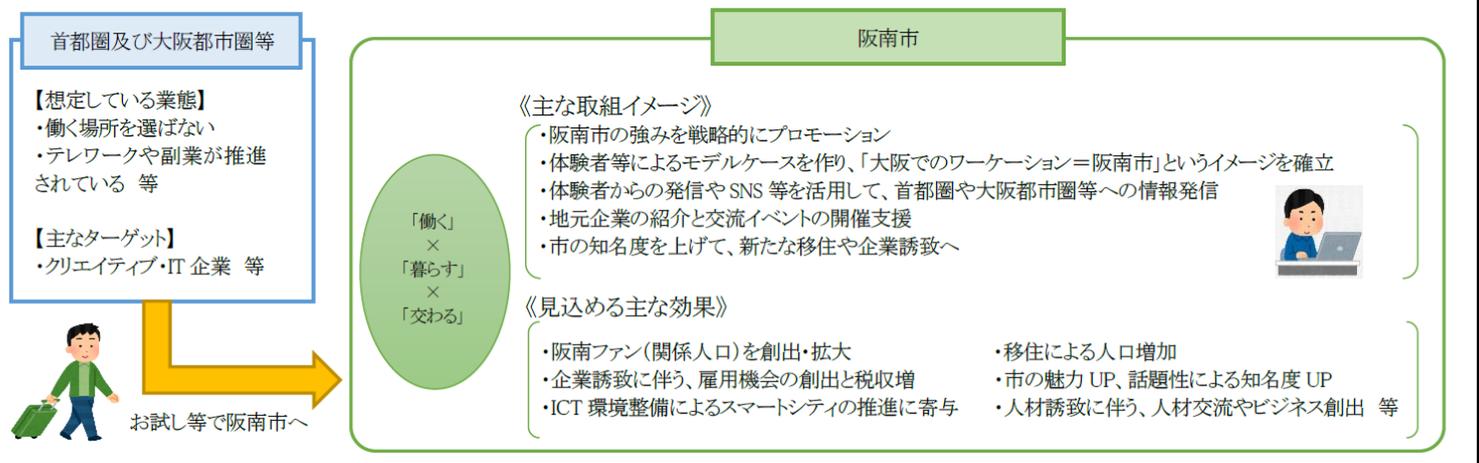
本取組により、首都圏及び大阪都市圏等の企業が一定期間、阪南市に拠点を移し、業務を行うことで、阪南市で働く・暮らすことの魅力を体験できることに加え、生産性やQOLの向上が実現できるまちとしてのイメージの効果的な情報発信を通じて、首都圏及び大阪都市圏等の企業進出・滞在・移住の好循環の創出をめざします。



イメージ

【整備後の事業イメージ】 ※他の移住定住関連施策と連携

- ①移住体験：海や山のロケーションと、大阪市や空港へのアクセスの良さを活かし、首都圏や大阪都市圏等の人材に阪南市で働き・暮らし・交流する体験の場を提供
- ②情報発信：首都圏や大阪都市圏等の人材による移住体験を基にした阪南市での暮らしの情報発信
- ③交流：拠点を移した企業と阪南の企業との交流を通じた人材育成やビジネスチャンスの創出



お試し等で阪南市へ